

第32回 環境教育コロキウム

日時 2005年 11月15日 (火曜日)
15:00~17:00

場所 宮城教育大学 221番教室

対象：学生・職員・一般（一般公開）



環境教育実践研究センター内ゴミ分別化移行ワーキンググループが、大学構内及び環境教育実践研究センター内のゴミ分別化に向けて各方面と情報交換を行い、その成果について公表するものです。

「宮城教育大学のゴミ問題」



21世紀は環境の世紀といわれ、環境教育にかかわる取り組みがさかんに行われています。しかし、足元のゴミ問題はどうか。

私たちは、このコロキウムをはじめの一步として、大学のゴミ問題に取り組み、「美しい大学」・「循環型社会の一員として責務を果たせる大学」・「次世代の子どもに“もの”の大切さを伝える教育を行う大学」の実現を目指したいと考えています。

遅すぎるぐらいの始まりです。

いま、大学の環境マネジメントは大きく変わりつつあるといっ
てよいでしょう。すでに国内では、山梨大学、京都精華大学、法政大学、千葉大学、早稲田大学、熊本大学、国連大学、東京農業大学、など多くの大学が次々に環境ISOを取得し、学内の環境マネジメントシステム構築に取り組んでいます。その中には、学内の学生をも巻き込んだ活動として確立しているものが多く見受けられることも特徴です。

コロキウムでは、環境マネジメントシステムの行方について、専門家のお話を伺い、大学のゴミの行方を考えます。

ゴミの問題に関心を持つすべての方の来場をお待ちいたします。

1. 全学で10月から実施されている

紙の分別についての説明

(村田哲彦氏・宮教大事務局財務課資産調達係・係長)

2. 事業系ごみの現状と課題

(石川浩敏氏・仙台清掃公社)

3. 大学におけるゴミ分別の取り組み

— 甲南大学を一例として —

(桔梗佑子・宮教大環境研・非常勤職員)

4. 宮城教育大学のゴミを考える

(渡邊美帆・宮教大環境研・4年生)

5. 総合討論

企画・連絡先：齊藤千映美・島野智之

(宮城教育大学 環境教育実践研究センター)

E-mail: csaito@staff.miyakyo-u.ac.jp・satoshis@staff.miyakyo-u.ac.jp